

託麻原校区社会福祉協議会行動計画【概要版】

住民同士がつながりを深め、みんなでつくるまちづくり
～ふれあい・思いやり・助け合い～

高齢者

福祉課題

- 高齢者の生きがいづくりや楽しみを継続できる仲間づくり
- 「ふれあい・いきいきサロン」の担い手不足、他の行事も含め自分で行く事が出来ない方が増えている
- 福祉推進員がなかなか揃わない、男性が少ない

高齢者と障がい者

- 地域住民と交流する機会である「ふれあい・いきいきサロン」に障がい者の参加が少ない

具体的な取り組み

- 高齢者による子育てサークルでの子守や伝承遊びの提供、登下校の見守りを継続・拡大する
- サロン活動を若い世代にもPRする、移送支援及び移動が困難な高齢者宅や近所で茶話会を開催する
- 退任される民生委員やPTA役員、婦人会OGの方へ福祉推進員の就任を依頼し増員を図る
- 「ふれあい・いきいきサロン」のメニューを工夫する（ものづくり、子どもとの交流）

子ども子育て

福祉課題

- マンションや集合住宅は、住民の孤立化や交流の難しさがあり、子育て世帯の把握がしづらい
- 子育て世帯への校区・町内の情報や保育園の開放について周知が難しい
- 実家が遠方で、子育てについて家族からの協力を得にくい家庭が多い

具体的な取り組み

- 子育てを終えた方や、子育て中の方に子育てネットワークの会の運営に協力してもらう
- SNSを活用し回覧版や子育てネットワークの会の情報を発信する
- 転入世帯を把握するため民生委員・児童委員と保健師の連携を強化する

防災

福祉課題

- 子育て世代の母親が避難所の受入れ状況がわからず不安を抱いている
- 校区内で災害時要援護者避難支援制度への理解が行き渡っていない

具体的な取り組み

- 子育てネットワークの会において避難所マップを作成し、赤ちゃん訪問や子育てサロンで配布する
- 福祉推進員に災害時要援護者避難支援制度への協力を依頼する

暮らし

福祉課題

- 空き家・空き地は所有者や相続人と連絡がとれない場合が増加している
- 空き家の危険度、危険個所の把握が十分でない

具体的な取り組み

- 行政（まちづくりセンター）と、空き家・空き地の情報を共有する

託麻原校区社会福祉協議会行動計画

- ◎「ふれあい・いきいきサロン」の継続と拡充
- ◎福祉推進員の増員
- ◎移送支援についての検討会議を開催
- ◎高齢者と障がい者の交流の拡充
- ◎就学前の子育て世帯への支援の拡充
- ◎子育て世代への情報発信ツールとしてSNSを活用
- ◎子育て世帯の転入について、関係機関と更なる情報共有・連携強化
- ◎子育て世代に向けた避難所の受入れ先等の情報や避難所マップの提供
- ◎防災における関係団体、関係機関との連携強化
- ◎空き家・空き地情報の関係機関との共有